

企業誘致

～民間企業と共にまちを育む

News Letter

Vol.46

地域貢献特集号(1) 国立市は民間企業と共にまちを育むことを基本理念としています。企業もまた地域社会の良き市民として地域社会と共生していくことが期待されています。今号では地域と連携して貢献活動を行っている指定企業FSX社の取組みを紹介します。

◆おしぼりの価値の追求と創造

FSX（エフエスエックス）社は、「おしぼりはモノのサービスではなく、心のサービス」を理念に1967年に国立市谷保で藤波タオルサービスとして創業しました。業務拡大に伴い1993年、現在の国立市泉地区へ移設。2016年創立50年を機に、次代の50年を見据えて、おもてなしに通じるあらゆるモノ・コトを提供し、新しいおもてなしの感動を創造する企業として、藤波【Fujinami】のサービス【Service】を表現し【Xpress】、そして、革新的なサービスと、新しい可能性を掛け合わせ【X】世界中にお届けするという使命と想いを込め社名を「FSX株式会社」と一新しています。おしぼりの素材や加工機の開発をはじめ、おしぼりに香りをつける特許技術や抗ウイルス・抗菌の衛生技術「VB(ブイビー)」、最適な温度でおしぼりが提供できる冷温庫「REION(レイオン)」の開発など、ソフトとハードの両面からおしぼりの価値を創造する開発を行い、品質の高い製品・サービスの企画・製造・販売を行っています。

この度の新型コロナウイルスの流行に伴い、手指衛生（手指を衛生に保つこと）の徹底が重要となるなか、ウイルスや菌を抑制する同社の衛生技術「VB(ブイビー)」が感染対策の一助になることを願い、感染の拡大防止に向けた取り組みとして、おしぼりの寄贈や国立駅でのおしぼり配布を行っています。

◆VBおしぼり・おしぼり用抗ウイルス水溶液の寄贈



永見市長(右)に寄贈する藤波克之FSX代表(左)

創業以来、国立市とともに歩んできた同社は地域社会との「共生」を企業スタンスに掲げています。コロナ禍の状況において、国立市にお住いの皆さまに、同社の衛生技術を少しでもお役立ていただきたいとの思いから今回、VBおしぼりや抗ウイルス水溶液を市役所に寄贈しました。寄贈したおしぼりなどは、市役所や市内の公共施設の衛生と安全のために活用されています。

同社は、他にも、毎年夏に開催の「国立まと火」には、まと火の火種としておしぼりの「リント（綿繊維）」を提供し、マラソンやウォーキングなどのイベント時にも、おしぼりを協賛しています。



おしぼり用抗ウイルス水溶液

◆国立駅でのVBおしぼり配布

2020年3月、JR国立駅改札前の南北通路にて、同社は、抗ウイルス・抗菌の「VBおしぼり」1万本を無料配布しています。

この配布は、国立市の協力のもと、新型コロナウイルス感染予防対策の一環として、おしぼりのできる手指衛生の啓発を目的に行われました。通勤やお出かけの際にも場所を選ばず使える衛生ツールとして、コンパクトな包装で持ち運びができる使いきりタイプの「VBおしぼり」が配布されました。合わせて、肉眼で確認することができないウイルスや菌をきちんと落とすためには、手の洗い方同様に、おしぼりの拭き方も重要となるため、「効果的な手の拭き方」も同時に説明をしています。



国立駅構内でのおしぼり配布の様子

受け取った市民からは、「無料でこんな立派なおしぼりがもらえて嬉しい！おしぼりの拭き方はとても参考になったわ。」等の好意的なコメントが多数寄せられました。同社は、今後も地域と連携しながら、社会貢献活動を推進することです。同社の今後の成長と発展が期待されます。